

優秀賞

福祉体験

真鶴町立まなづる小学校五年 青木 万莉

福祉のことを伝えるために、真鶴町の社会福祉協議会の方が私たちの学校に来てくれました。福祉のことがよく分かるように、福祉についての説明だけでなく、道具を使ってわかりやすく、いねいに伝えてくれました。

福祉とは、障がい者の方やケガをしている方やお年寄りの方たちの生活に深くかかわっていること、医療関係保護施設、子育て支援なども福祉だと教えてくれました。耳が聞こえない方は、手話などで話をしたり、目が見えない方は点字を触ったり点字ブロックを棒で触ったりしていることがわかりました。私は、お年寄りの方と病気の方だけに関わることが福祉だと思っていたのでとてもおどろきました。私が一番心に残ったことは車椅子体験とお年寄りになりきったの体験です。

車椅子体験では、自分が乗ってみて板を下るときにとっても怖く感じました。車椅子を押す時には乗っている人の気持ちを考えて、怖い気持ちにならないように押してあげなければいけないと気づくことができました。

お年寄りになりきったの体験では、足は重くて歩きにくいことや、目が黄色くにごっていて見えにくくなり広告を見ることが難しかったり、お金が出しにくかったり、いつも自分がかんたんにできることや店に行くことも本当に大変なんだとわかりました。

これから私は、何か困っていそうなお年寄りの方や体の不自由な方がいたら、「お手伝いが必要ですか？」と声をかけたり、電車で席をゆずってあげたり、私にできる人助けをしてみようと思います。少し勇気のいることだけど頑張ってみます。そうすれば私も福祉に参加できる気がするし、困っている人を少しでも減らせるのではないかと思います。福祉を必要な人を笑顔にできれば、その周りの人の笑

顔も増えてすごく良いなと思いました。